

明日のいのちの為に。
くすりの未来を切り拓く。



キッセイ薬品は世界の人々の健康に貢献する、創業研究開発型企業です。

◎本社
〒399-8710 長野県松本市芳野19番48号 TEL:0263-25-9081
◎東京本社
〒103-0022 東京都中央区日本橋室町1丁目8番9号 TEL:03-3279-2761
〒112-0002 東京都文京区小石川13丁目1番3号 TEL:03-5684-3530

KISSEI
キッセイ薬品工業株式会社
http://www.kissei.co.jp



広がる治療 広がる笑顔 広がる未来

いまだ満たされていないメディカルニーズに応えるため、
患者さんやご家族の笑顔、
そしてすべての人々の明るい未来のために
私たちはこれからも挑戦し続けます。

日本新薬株式会社

命のために、
できることを
すべてを。



Photography by ハービー・山口

大日本住友製薬
Innovation today, healthier tomorrows

医療の質向上に貢献する

どあいさつ

日本製薬工業協会会長
畑中 好彦
(アステラス製薬代表取締役社長CEO)



健康寿命の延伸に役割果たす

日本製薬工業協会(以下、製薬協)は研究開発型の製薬企業が加盟する団体であり、革新的な新薬の創出を通じて、生命関連産業としての使命である「世界の人々の健康と福祉の向上に貢献する」ことを理念として活動しております。

本年度、製薬協では「イノベーション(革新的な新薬の研究開発)の促進による医療の質の向上」をテーマとして、さまざまな改革が進む(厚生労働省)。

「健康寿命の延伸に役割果たす」とは、質の向上、医薬品の価値を踏まえた経済発展への貢献、国際展開、国際協力の推進とグローバルヘルスの貢献、生命関連産業としての使命である「世界の人々の健康と福祉の向上に貢献する」ことを理念として活動しております。

製薬協は研究開発型の製薬企業が加盟する団体であり、革新的な新薬の創出を通じて、生命関連産業としての使命である「世界の人々の健康と福祉の向上に貢献する」ことを理念として活動しております。

本年度、製薬協では「イノベーション(革新的な新薬の研究開発)の促進による医療の質の向上」をテーマとして、さまざまな改革が進む(厚生労働省)。

「健康寿命の延伸に役割果たす」とは、質の向上、医薬品の価値を踏まえた経済発展への貢献、国際展開、国際協力の推進とグローバルヘルスの貢献、生命関連産業としての使命である「世界の人々の健康と福祉の向上に貢献する」ことを理念として活動しております。

本年度、製薬協では「イノベーション(革新的な新薬の研究開発)の促進による医療の質の向上」をテーマとして、さまざまな改革が進む(厚生労働省)。

「健康寿命の延伸に役割果たす」とは、質の向上、医薬品の価値を踏まえた経済発展への貢献、国際展開、国際協力の推進とグローバルヘルスの貢献、生命関連産業としての使命である「世界の人々の健康と福祉の向上に貢献する」ことを理念として活動しております。

製薬産業

環境変化に対応を

新薬や関連分野活性化

高齢化社会が進み、医療費の上昇が社会的な関心を集める中、製薬業界を取り巻く環境が変化している。厚生労働省は今年5月、後発医薬品(ジェネリック)の使用割合を80%に引き上げる目標の時期を従来よりも前倒しし、2020年9月に決めた。政府も17年6月に閣議決定した「骨太方針」において薬価制度の抜本改革に向けて取り組んでいくことを打ち出した。一方で、製薬会社がイノベーションや研究開発への意欲をそがないようにすることも合わせて求められている。

ジェネリック
これまでジェネリックの使用割合は、厚労省が17年半ばに70%以上、20年度末までの目標を65・1%の見通しと目標には達していないが、シェアは増加傾向にある。

ベンチャー振興
ベンチャー企業は重要な役割を担っている。厚労省は医療系団体やベンチャー企業などで構成する協議会を17年度中に立ち上げる見込み。医薬品のほか、保健医療分野において、再生医療等でも人工知能(AI)製品といった医療系分野におけるベンチャー企業の振興や支援策を議論する。

AI活用
具体的には、ゲノム医療、画像診断支援、診断・治療支援、医薬品開発、介護・認知症、手術支援を重点領域とした。手術支援では、関連するためのインターフェースの標準化を進める予定だ。

環境変化に対応を
クの流通をめぐる課題について検討する。後発品ワークの約半分は医療系ベンチャー由来とされる。海外ではベンチャー企業が重要な役割を担っている。厚労省は医療系団体やベンチャー企業などで構成する協議会を17年度中に立ち上げる見込み。医薬品のほか、保健医療分野において、再生医療等でも人工知能(AI)製品といった医療系分野におけるベンチャー企業の振興や支援策を議論する。

AI活用
具体的には、ゲノム医療、画像診断支援、診断・治療支援、医薬品開発、介護・認知症、手術支援を重点領域とした。手術支援では、関連するためのインターフェースの標準化を進める予定だ。

さまざまな改革が進む(厚生労働省)

「保健医療分野におけるAI活用推進懇話会」が塩崎恭久厚労相(右)に報告書を手交

薬価などを議論する中央社会保険医療協議会(中医協)


がんや血栓の新しい治療薬を届けたい。
第一三共が積み重ねてきたサイエンスに
新しい切り口を加えて
生まれるイノベーション。
その先に、希望という名の
ゴールがあると信じて。



**イノベーションに情熱を。
ひとに思いやりを。**

Daiichi-Sankyo
第一三共株式会社

Better Health, Brighter Future



タケダから、世界中の人々へ。
より健やかで輝かしい明日を。

一人でも多くの人に、かけがえない人生をより健やかに過ごしてほしい。タケダは、そんな想いのもと、1781年の創業以来、革新的な医薬品の創出を通じて社会とともに歩み続けてきました。

私たちは今、世界のさまざまな国や地域で、予防から治療・治癒にわたる多様な医療ニーズと向き合っています。その一つひとつに添えていくことが、私たちの新たな使命。よりよい医薬品を待ち望んでいる人々に、少しでも早くお届けする。それが、いつまでも変わらない私たちの信念。

世界中の英知を集めて、タケダはこれからも全力で、医療の未来を切り拓いていきます。

武田薬品工業株式会社
www.takeda.co.jp